

次世代省エネ建材支援事業



一次公募期間

2019年5月13日(月)～6月28日(金)

補助対象となる次世代建材のご紹介

省エネルギーリフォームをすると光熱費が安くなるだけでなく、快適に過ごせるようになります。
1部屋だけをリフォームする場合でも補助事業の対象です!



窓・ガラス

内窓を追加したり、ペアガラスへの交換を行うことで、快適な部屋の温度を逃しません。工期も短いので導入しやすく、すぐに効果を実感できます。



断熱材

夏涼しく、冬は暖かく過ごせるよう、室外に出入りする熱の移動を減少できる建材です。様々な種類や形状があり、天井か床に改修を行うと補助対象となります。



調湿建材

室内の湿度を調整(吸放出)できる建材です。暖房時の結露対策にも効果があり、室内を快適な湿度に保つことができます。

NEW



防火断熱窓

断熱性能と防火性能を合わせた製品が補助対象になりました。



断熱パネル

高性能な断熱材と下地となるボードが、一体となったパネルです。短工期で施工できるので、改修が必要な部屋だけを選んで施工できます。



玄関ドア

断熱玄関ドアに交換することによって、足元の冷え込みを防ぐことができます。また、玄関・廊下と部屋の気温差も軽減されることが期待できます。



潜熱蓄熱建材

17℃～28℃の温度帯の熱を吸収・放出する物質を組み込んだ建材です。室内温度の変動を抑えられるため、季節を問わず快適な室内空間が維持できます。

■ いずれかの製品での改修が必須です(必須製品)

■ 必須製品と同時に改修することで補助対象となります(任意製品)

補助対象について

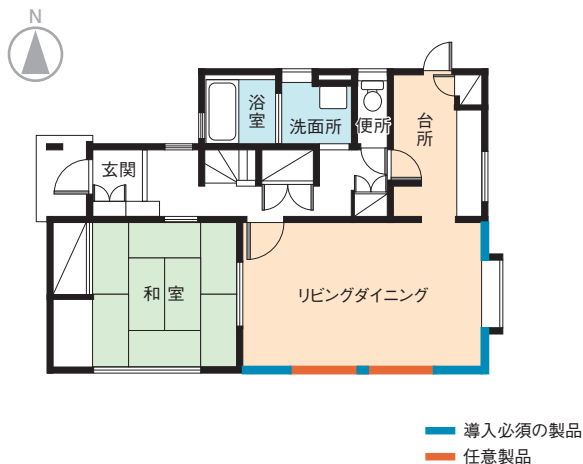
住宅区分	戸建住宅 集合住宅	補助率	補助対象費用の 1/2 以内
補助対象となる申請者	<ul style="list-style-type: none"> ●個人の所有者又は、個人の所有予定者 ●賃貸住宅の所有者(個人・法人どちらでも可) 	補助金額(上限金額)	戸建住宅 1住戸当たり 200 万円※ 集合住宅 1住戸当たり 125 万円※ <small>※下限金額：1住戸当たり20万円</small>
事業内容	短工期で施工可能な高性能断熱パネルや潜熱蓄熱建材、調湿建材等の付加価値を有する省エネ建材を用いた住宅の断熱リフォーム事業		

この事業のポイント

住宅の一部の改修でも補助対象になります!

申請可能な最小規模の断熱改修例

戸建住宅の改修イメージ



導入必須の製品



断熱パネル

リビングダイニングの南面と東面に断熱パネルを施工のイメージ

●補助対象経費

約15万円

任意製品



窓

リビングダイニングの南面(2窓)に内窓を設置のイメージ

●補助対象経費

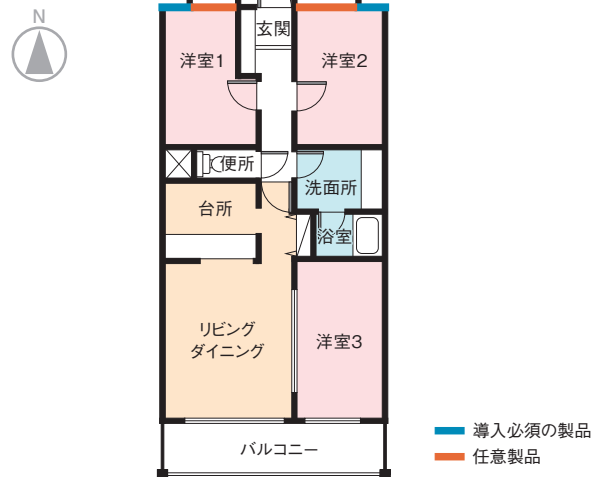
約35万円

補助対象経費合計

約50万円

補助金額 約**25**万円

集合住宅(中住戸)の改修イメージ



導入必須の製品



断熱パネル

北面(洋室1と洋室2)に真空断熱パネルを施工のイメージ

●補助対象経費

約30万円

任意製品



窓

北面(洋室1と洋室2)に内窓を設置のイメージ

●補助対象経費

約12万円

補助対象経費合計

約42万円

補助金額 約**21**万円

※改修イメージに記載されている施工部位や金額は一例であり、補助金額を約束するものではありません。

補助金交付の対象となる材料費や工事費の詳細については、SIIホームページから

https://sii.or.jp/meti_material31/

問い合わせ先

TEL **03-5565-3110**

【受付時間】平日 10:00~17:00 (通話料がかかりますのでご注意ください)

sii

一般社団法人

環境共創イニシアチブ

Sustainable open Innovation Initiative

次世代省エネ建材支援事業担当